

# 「ユニセフ子ども物語」

地球に住む子どものいろいろな暮らしを知ろう



Central African Republic

中央アフリカ共和国



## このすばらしくて かんたんなこと!!

ある日の午後、中央アフリカ共和国の小さな村の水くみポンプのまわりでは、順番を待つ女の子たちのおしゃべりで、いつものように賑わっていました。

クレア（17歳）もその中にいましたが、声を張り上げないと皆の話の輪に入りこめませんでした。彼女の声が弱々しいのは、きれいな顔の下のどまわりが大きくふくれ上がっていて、それが彼女の声帯をしめつけているからです。

長い間、村では、これは悪霊によるものだとか、この地域の食物に毒が含まれているとか、その人の行いが悪いらからといった迷信や憶測で説明されていました。

しかし、ユニセフが最近この地域で行ったヨード欠乏症の調査により、こうした迷信や憶測は一掃されました。実はクレアはこの国の60%以上の人々が苦しんでいるヨード欠乏による甲状腺肥大症だったのです。この調査では、クレアのようにのどがふくれた人のほかにも、子どもを死産したり流産した女性たちや、大きくなって言葉が話せなかったり、からだの動きに不自由なところのある子どもたちがヨードの欠乏によるものと診断されました。

海から遠く離れたアフリカ内陸部では、もともと土の中のヨード分が少ない上に、雨期の洪水でそれが流されてしまうので、その土地で育った作物や家畜を食べる人々は、ヨード



©UNICEF/Giacomo Pirozzi

が足りないことが多いのです。しかも、ヨード不足は胎児期～幼児期の子どもに、決定的な影響をおよぼします。したがってヨード欠乏症はこの国だけでなく世界の各地で深刻な問題です。

けれどもこの調査のとき村の人々は同時に、素晴らしいこ



©UNICEF/Giacomo Pirozzi 井戸にディヒューザーをとりつける村の人々

とを知りました！ ヨード欠乏症は治すのはむずかしいけれど、病気の進行をとめることと、これから生まれてくる子どもたちがかからないようにすることはできるのです！

そのための装置は、プラスチックのかごの中に白いうそくの束のように固形化したヨード棒を1年持続できる分だけ入れたもので、ディヒューザーと呼ばれています。これを井戸の底に沈めるとそれが少しずつ溶けて、汲みあげる水全体にヨード分を拡散する仕掛けになっています。

この水を飲み、この水で育った野菜を食べることによって、初期のヨード欠乏症は改善され、今後生まれてくる子どもたちはヨード欠乏症の不安から永久に解放されるのです。

井戸端会議の話題は、明日設置するディヒューザーのことに移っていました。クレアは水くみの番を待ちながら、明日おこる出来事によってもたらされる未来を思い浮かべています。明日以降、この国の多くの男女を苦しめているヨード欠乏症という病気そのものが、“過去のもの”になり始めることでしょうか。これから成長する多くの子どもたちには、明るい未来が約束されたからです。

(Central African Republic Country Kitより 一部改訳)

翻訳ボランティア：岩永啓二氏

# 中央アフリカ共和国について

面積	62万2984km <sup>2</sup> (日本の約1.7倍)	
人口	325万人 (日本の約2.5%)	
民族構成	人種・言語・文化などの特徴を共有する80のグループに分けられる	
主要言語	インディオと白人の混血84%、白人10%、インディオ6%	
主要宗教	伝統宗教(アニミズム)60%、キリスト教35%、イスラム教5%	
産業	農業	人口の85%が従事 主要作物 トウモロコシ、ヤムイモ、キャッサバ 輸出用作物 綿花、コーヒー、カカオ、砂糖、落花生
	貿易品目	ダイヤモンド、金、木材、コーヒー、綿花
地理	起伏のある高原が広がる内陸国。北部は砂漠・中部はサバンナ・南西部は熱帯雨林	
気候	12~4月乾期、5~11月雨期	



キャッサバ

## ヨーロッパに接触してからの歴史(それ以前はまだよくわかっていない)

- 1894年 フランス領植民地となる(ウバンギ・シャリと呼ばれる)
- 1910年 コンゴ、ガボン、チャドとともにフランス領赤道アフリカとして再編成される。強制労働によるゴムや象牙の採集が行われ、人々は搾取される。
- 1930年代 経済の中心が綿花やコーヒーの栽培およびダイヤモンドの採掘へと変わり非人道的な政策が改善される。
- 1940年 第二次世界大戦で自由フランスの側に立って、北アフリカ戦線の後方基地として戦う。
- 1946年 フランスの海外領土となり本国の議会に代表を送る権利を得る。
- 1960年 8月13日 中央アフリカ共和国として完全独立を果たす。初代大統領はダビッド・ダッコ
- 1961年 クーデターによりボカサ中佐が大統領に就任。
- 1976年 帝制宣言。ボカサ大統領皇帝となる。
- 1979年 クーデター発生。共和制復活。
- 1985年 暫定憲法制定。コリンバ議長大統領に就任。
- 1993年 パタセ新大統領就任。構造調整計画を推進し、民主化に努力するが、公務員の給料遅配や内外の債務支払など大きな課題を抱えている。



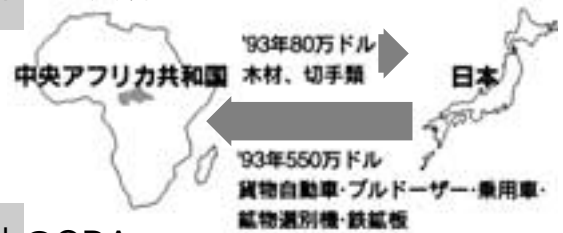
## 中央アフリカ共和国と日本と

	中央アフリカ共和国		日本	
	1960年	1993年	1960年	1993年
乳幼児死亡率	294	177	40	6
甲状腺腫の罹患率(6~11歳児 '80-'92)	63%		データなし	
一人当たりのGNP '92	\$ 410		\$ 28190	

ユニセフ「世界子供白書1995」より

\* 乳幼児死亡率：出生1000人あたり5歳になるまでに死亡する割合

## 日本との貿易



## 日本のODA

'93	無償資金協力	1301万ドル	地下水開発計画など
	技術協力	126万ドル	道路建設など

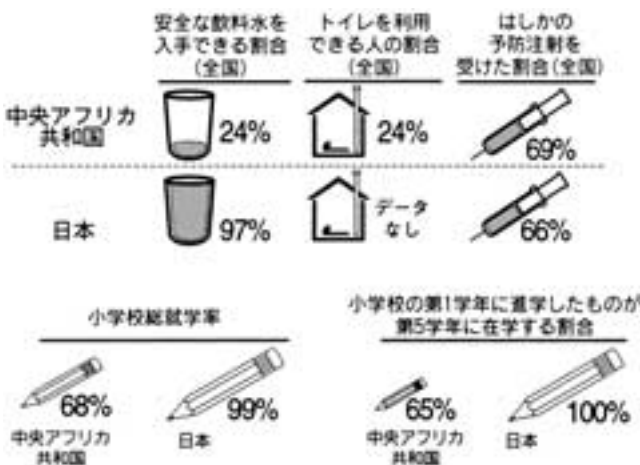
日本から中央アフリカ共和国へ行くには...

- 成田 ⇒ パリ ⇒ 首都バンギ  
 ↓  
 アビジャン(コートジボアール)
- 成田 ⇒ デュアラ ⇒ 首都バンギ  
 (カメルーン)

費用は時期等にもよりますが、約35~45万円くらい。国立公園などもあり、自然が素晴らしいそうですが、現在日本には大使館もなく日本から行く人は非常に少ないそうです。  
取材協力(株)道祖神

## おわびと訂正

前号 サンプル号「ネパールのごはん」の項について、青年海外協力隊でネパールに3年半おられた方から、下記のようなご指商をいただきました。  
 ネパールの代表的な食事は「ダール(豆)」「バーヒ(ごはん)」「タルカリ(野菜などをカレー味で煮込んだもの)」が一般的で、ごはんは豆のスープとカレー味のおかずをお皿にとって手で混ぜて食べるものです。  
 ご指商に感謝するとともに、訂正しておわび申し上げます。



参考文献：「アフリカを知る事典」1989、平凡社 「国際情報大事典」1994、学研  
 「アフリカ年鑑'93-'94年版」、アフリカ協会刊  
 「ODA白書'94」、外務省 MOFAX外務省